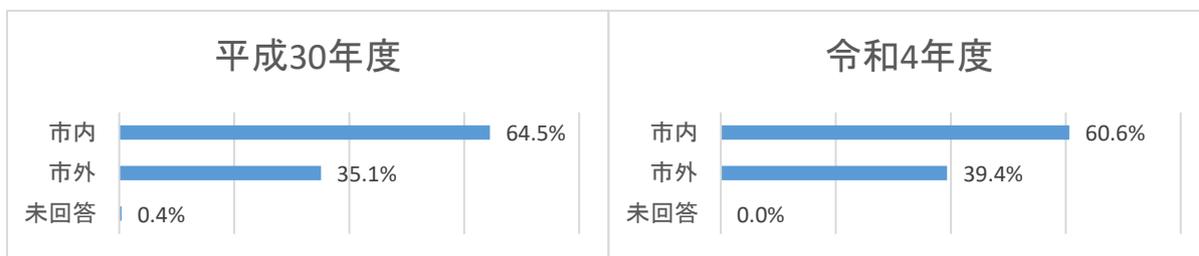


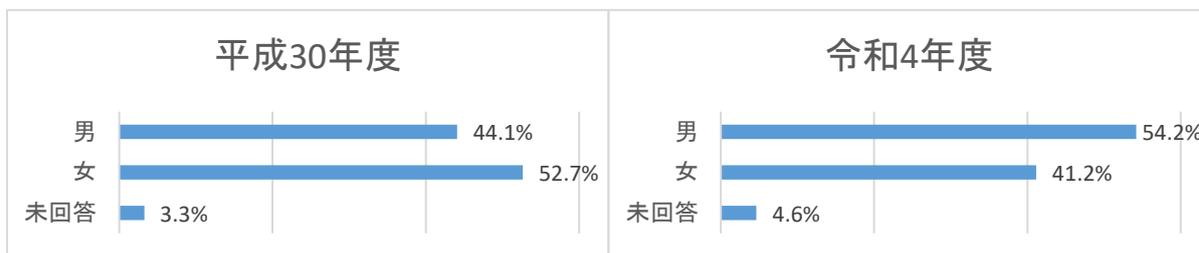
問1 あなたのお住まいはどちらですか。

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
市内	316	64.5%	274	60.6%
市外	172	35.1%	178	39.4%
未回答	2	0.4%	0	0.0%
計	490	100.0%	452	100.0%



問2 性別はどちらですか。

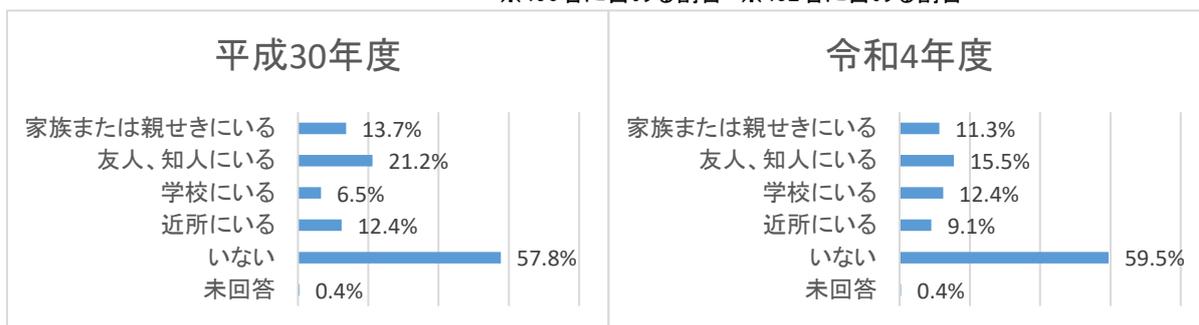
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
男	216	44.1%	245	54.2%
女	258	52.7%	186	41.2%
未回答	16	3.3%	21	4.6%
計	490	100.0%	452	100.0%



問3 あなたのまわりに障害のある人はいますか。(複数回答)

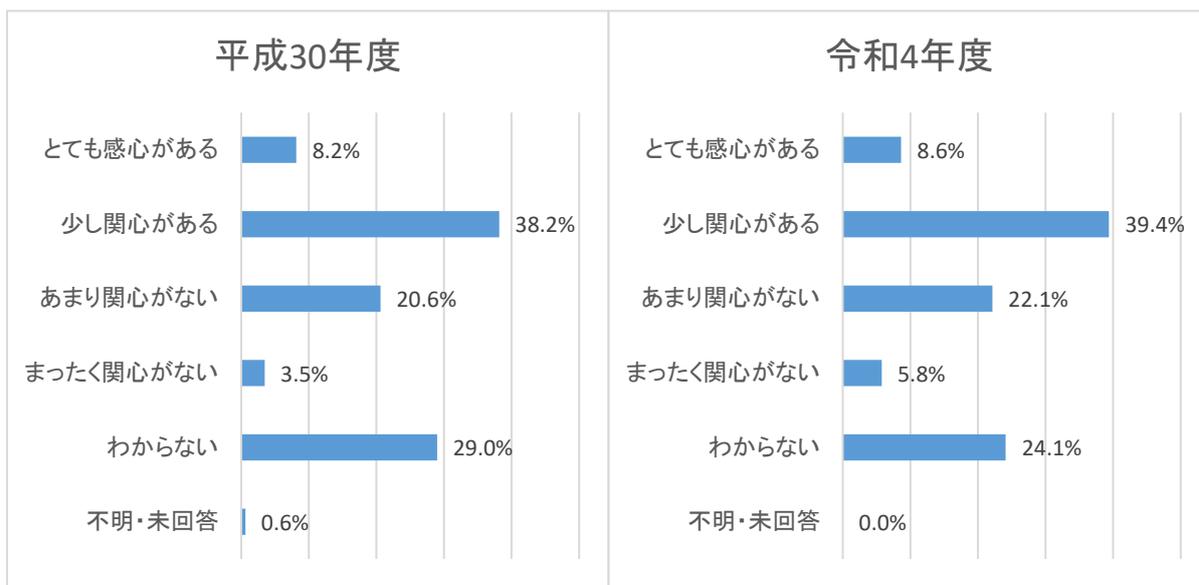
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
家族または親せきにいる	67	13.7%	51	11.3%
友人、知人にいる	104	21.2%	70	15.5%
学校にいる	32	6.5%	56	12.4%
近所にいる	61	12.4%	41	9.1%
いない	283	57.8%	269	59.5%
未回答	2	0.4%	2	0.4%
総数	549		489	

※490名に占める割合 ※452名に占める割合



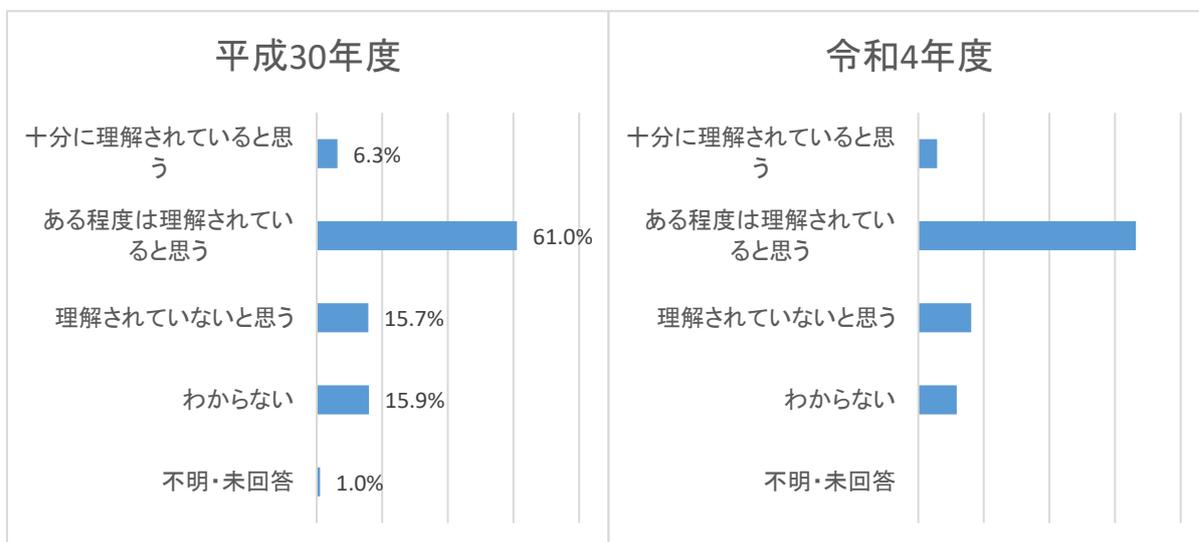
問4 あなたは障害のある人たちのことに関心がありますか。

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
とても感心がある	40	8.2%	39	8.6%
少し関心がある	187	38.2%	178	39.4%
あまり関心がない	101	20.6%	100	22.1%
まったく関心がない	17	3.5%	26	5.8%
わからない	142	29.0%	109	24.1%
不明・未回答	3	0.6%	0	0.0%
計	490	100.0%	452	100.0%



問5 障害のある人たちのことは人々に理解されていると思いますか。

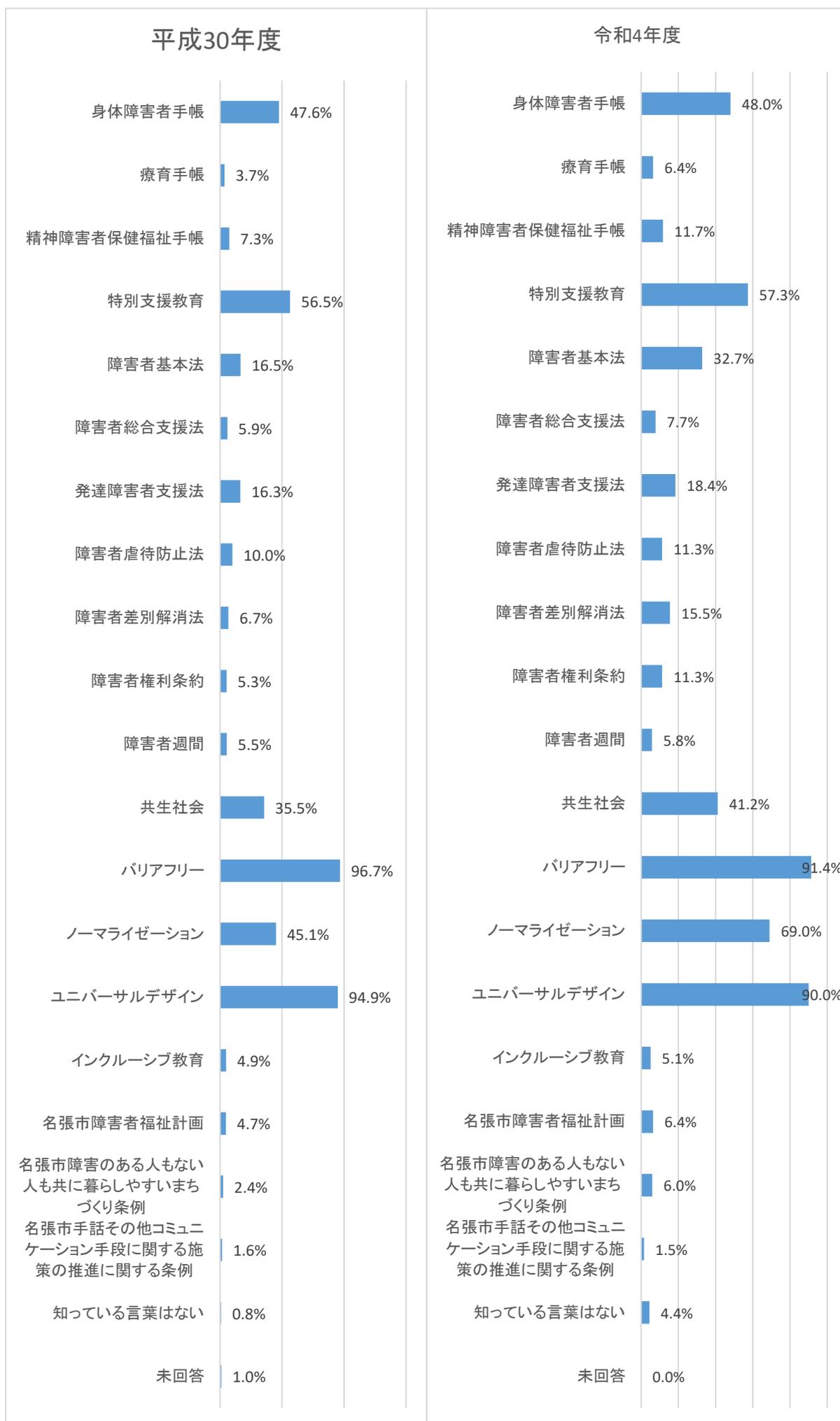
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
十分に理解されていると思う	31	6.3%	26	5.8%
ある程度は理解されていると思う	299	61.0%	300	66.4%
理解されていないと思う	77	15.7%	73	16.2%
わからない	78	15.9%	53	11.7%
不明・未回答	5	1.0%	0	0.0%
計	490	100.0%	452	100.0%



問6 次の障害者福祉に関する言葉のうち、あなたが知っている言葉はどれですか。(複数回答)

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
身体障害者手帳	233	47.6%	217	48.0%
療育手帳	18	3.7%	29	6.4%
精神障害者保健福祉手帳	36	7.3%	53	11.7%
特別支援教育	277	56.5%	259	57.3%
障害者基本法	81	16.5%	148	32.7%
障害者総合支援法	29	5.9%	35	7.7%
発達障害者支援法	80	16.3%	83	18.4%
障害者虐待防止法	49	10.0%	51	11.3%
障害者差別解消法	33	6.7%	70	15.5%
障害者権利条約	26	5.3%	51	11.3%
障害者週間	27	5.5%	26	5.8%
共生社会	174	35.5%	186	41.2%
バリアフリー	474	96.7%	413	91.4%
ノーマライゼーション	221	45.1%	312	69.0%
ユニバーサルデザイン	465	94.9%	407	90.0%
インクルーシブ教育	24	4.9%	23	5.1%
名張市障害者福祉計画	23	4.7%	29	6.4%
名張市障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちづくり条例	12	2.4%	27	6.0%
名張市手話その他コミュニケーション手段に関する施策の推進に関する条例	8	1.6%	7	1.5%
知っている言葉はない	4	0.8%	20	4.4%
未回答	5	1.0%	-	-
総数	2299		2446	

※490名に占める割合 ※452名に占める割合

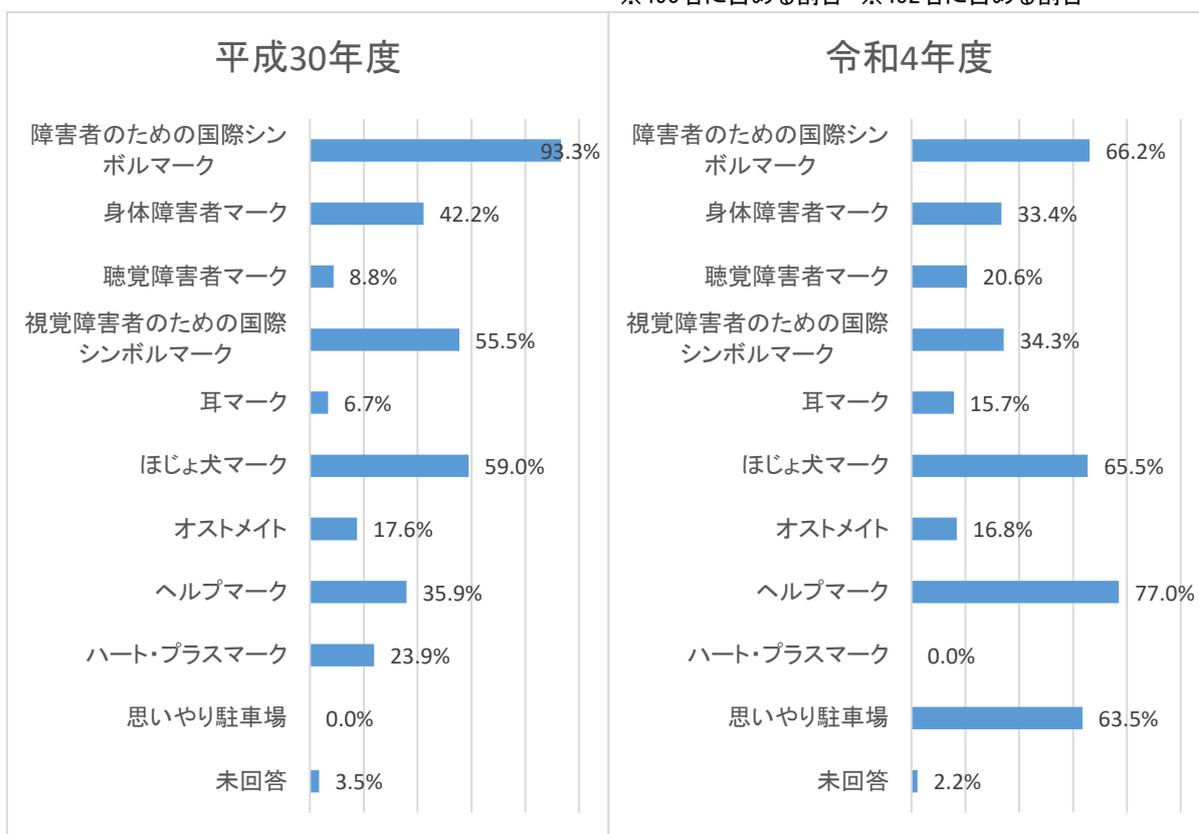


問7 次の障害者に関するマークを知っていますか。(複数回答)

障害者のための国際シンボルマーク		障害者が利用できる建物、施設であることを表すマーク。全ての障害者が対象
身体障害者マーク		肢体不自由(手や足に障害がある)を理由に免許に条件が付いている人が運転する車に表示するマーク
聴覚障害者マーク		聴覚障害(耳が聞こえない、または聞こえにくい)を理由に免許に条件がある人が運転する車に表示するマーク
視覚障害者のための国際シンボルマーク		視覚障害者(目が見えない、見えにくい人)の安全やバリアフリーについてよく考えられた建物、設備、機器を示すマーク
耳マーク		耳の聞こえが不自由なことを表すマーク
ほじょ犬マーク		身体障害者補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)と施設に入ってよいことを知ってもらうマーク
オストメイト		がんの手術で肛門やぼうこうを切り取り、お腹に便や尿などを出す穴をつくった人(オストメイト)のための設備を示すマーク
ヘルプマーク		見た目で見えない、障害のある人や病気の人などが、困ったときに周囲へ示し支援や理解を求めやすくするマーク
ハート・プラスマーク		内部障害者を示すマーク
思いやり駐車場		障害者や妊娠中の方など、歩くのが大変な方が駐車場からの移動をスムーズにできるように考えられた駐車場のマーク

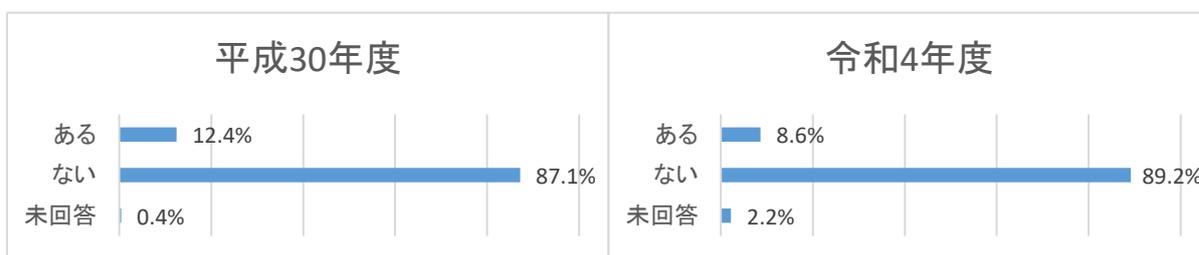
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
障害者のための国際シンボルマーク	457	93.3%	299	66.2%
身体障害者マーク	207	42.2%	151	33.4%
聴覚障害者マーク	43	8.8%	93	20.6%
視覚障害者のための国際シンボルマーク	272	55.5%	155	34.3%
耳マーク	33	6.7%	71	15.7%
ほじょ犬マーク	289	59.0%	296	65.5%
オストメイト	86	17.6%	76	16.8%
ヘルプマーク	176	35.9%	348	77.0%
ハート・プラスマーク	117	23.9%	-	-
思いやり駐車場	-	-	287	63.5%
未回答	17	3.5%	10	2.2%
総数	1697		1786	

※490名に占める割合 ※452名に占める割合



問8 あなたは、障害のある人に対するボランティア活動に参加したことがありますか。

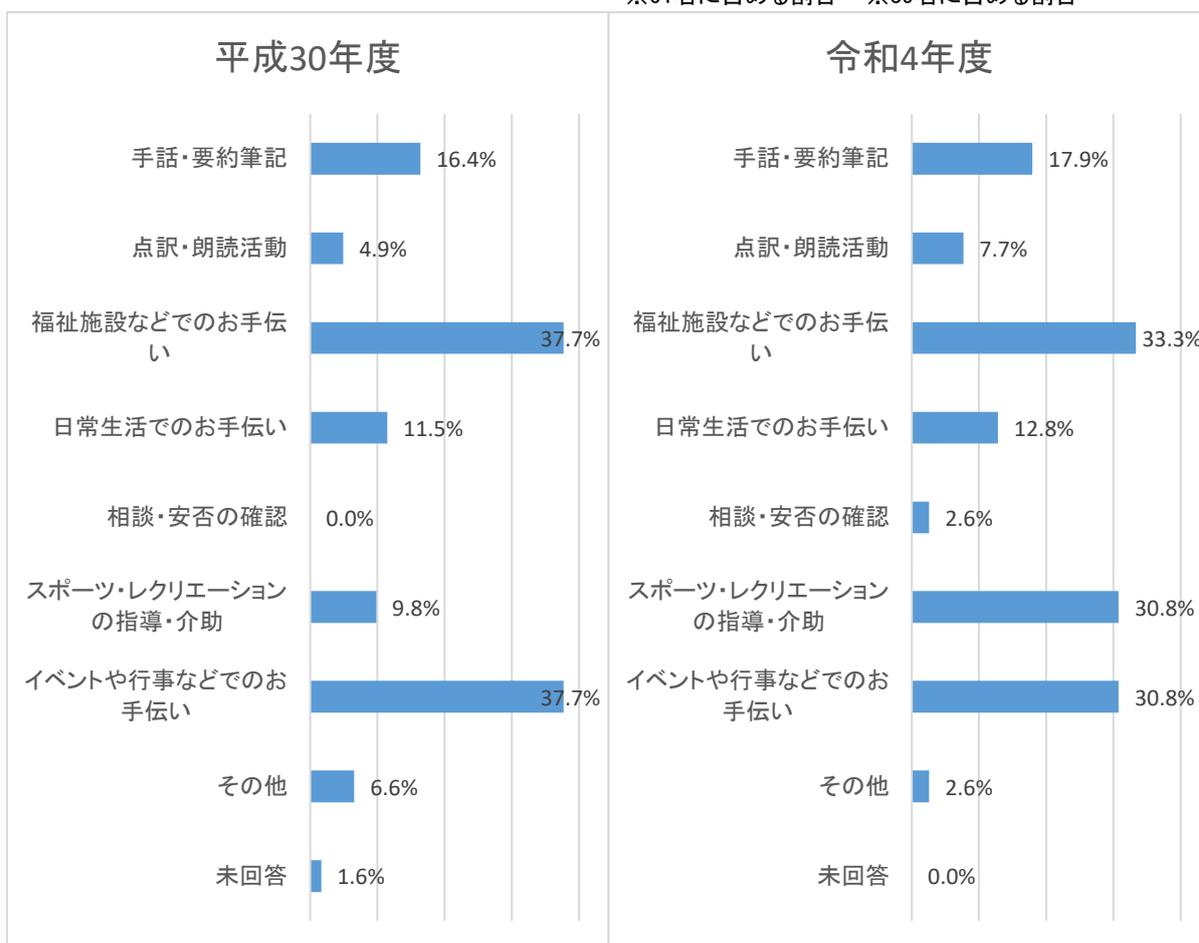
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
ある	61	12.4%	39	8.6%
ない	427	87.1%	403	89.2%
未回答	2	0.4%	10	2.2%
計	490	100.0%	452	100.0%



問9 問8で「ある」に○をつけられた人にお伺いします。どのようなボランティア活動に参加しましたか。
(複数回答)

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
手話・要約筆記	10	16.4%	7	17.9%
点訳・朗読活動	3	4.9%	3	7.7%
福祉施設などでのお手伝い	23	37.7%	13	33.3%
日常生活でのお手伝い	7	11.5%	5	12.8%
相談・安否の確認	0	0.0%	1	2.6%
スポーツ・レクリエーションの指導・介助	6	9.8%	12	30.8%
イベントや行事などでのお手伝い	23	37.7%	12	30.8%
その他	4	6.6%	1	2.6%
未回答	1	1.6%	-	-
総数	77		54	

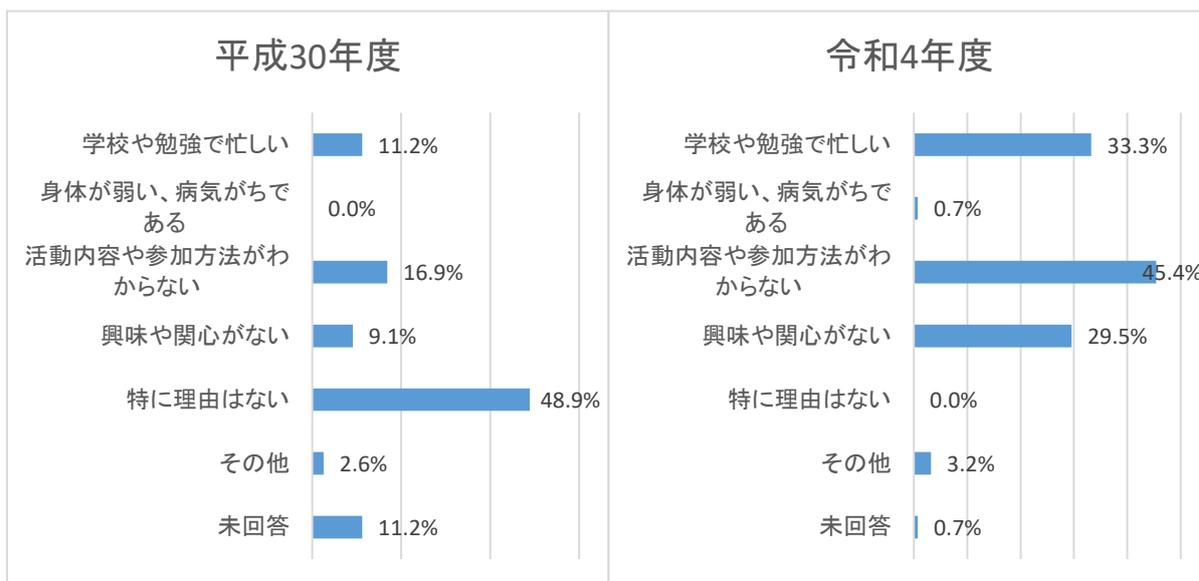
※61名に占める割合 ※39名に占める割合



問10 問8で「ない」に○をつけられた方にお伺いします。ボランティア活動に参加したことがない理由は何ですか。(令和4年度は複数回答)

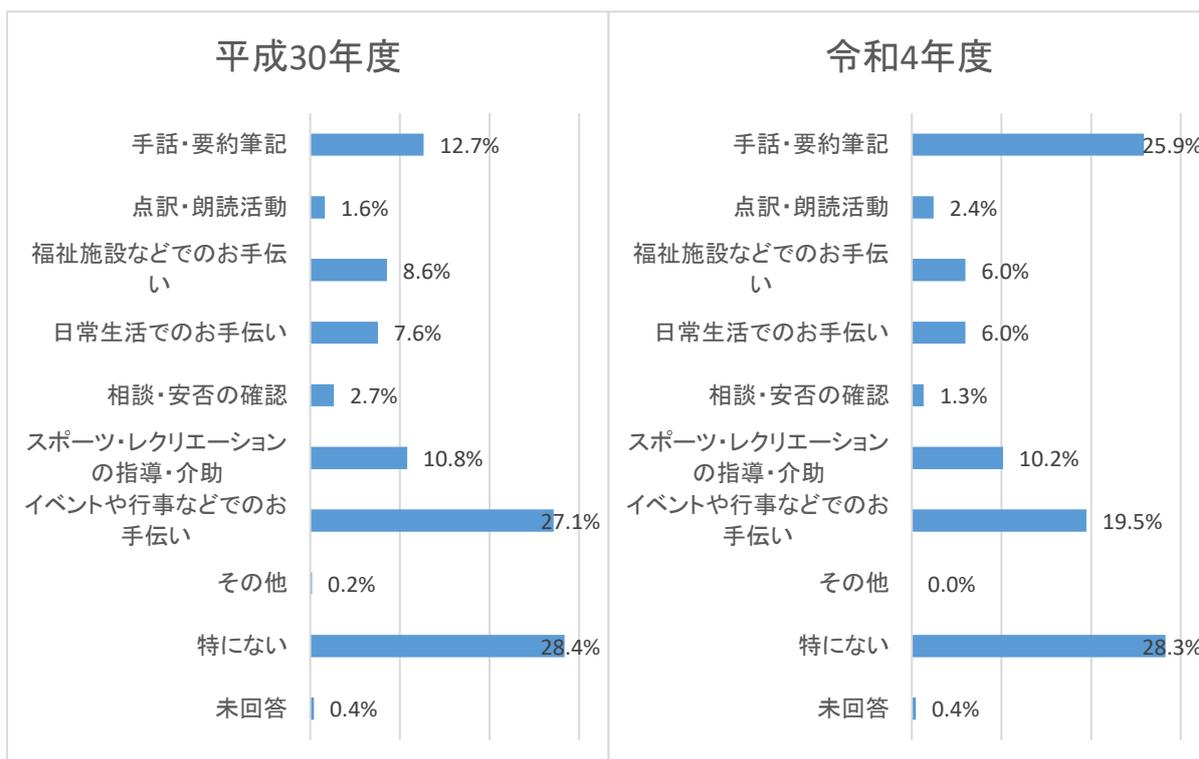
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
学校や勉強で忙しい	48	11.2%	134	33.3%
身体が弱い、病気がちである	0	0.0%	3	0.7%
活動内容や参加方法がわからない	72	16.9%	183	45.4%
興味や関心がない	39	9.1%	119	29.5%
特に理由はない	209	48.9%	-	-
その他	11	2.6%	13	3.2%
未回答	48	11.2%	3	0.7%
計	427		455	

※427名に占める割合 ※403名に占める割合



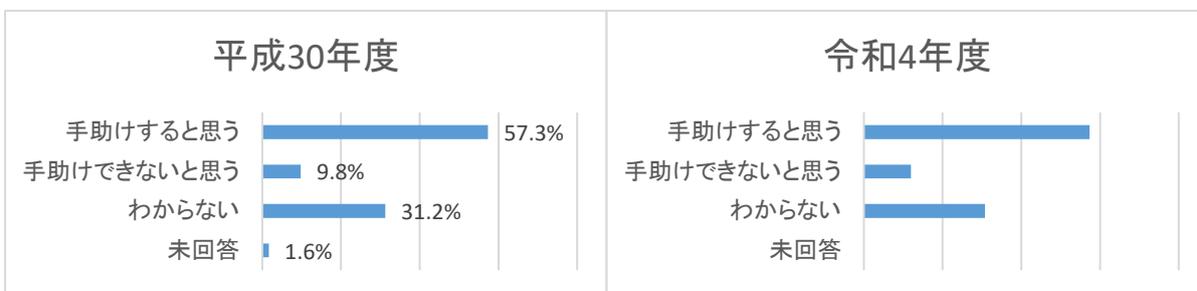
問11 あなたがこれから一番してみたいボランティア活動はどれですか。

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
手話・要約筆記	62	12.7%	117	25.9%
点訳・朗読活動	8	1.6%	11	2.4%
福祉施設などのお手伝い	42	8.6%	27	6.0%
日常生活でのお手伝い	37	7.6%	27	6.0%
相談・安否の確認	13	2.7%	6	1.3%
スポーツ・レクリエーションの指導・介助	53	10.8%	46	10.2%
イベントや行事などのお手伝い	133	27.1%	88	19.5%
その他	1	0.2%	-	-
特にない	139	28.4%	128	28.3%
未回答	2	0.4%	2	0.4%
計	490	100.0%	452	100.0%



問12 災害が起こったときに障害のある人が困っていたら、あなたは手助けをしますか。

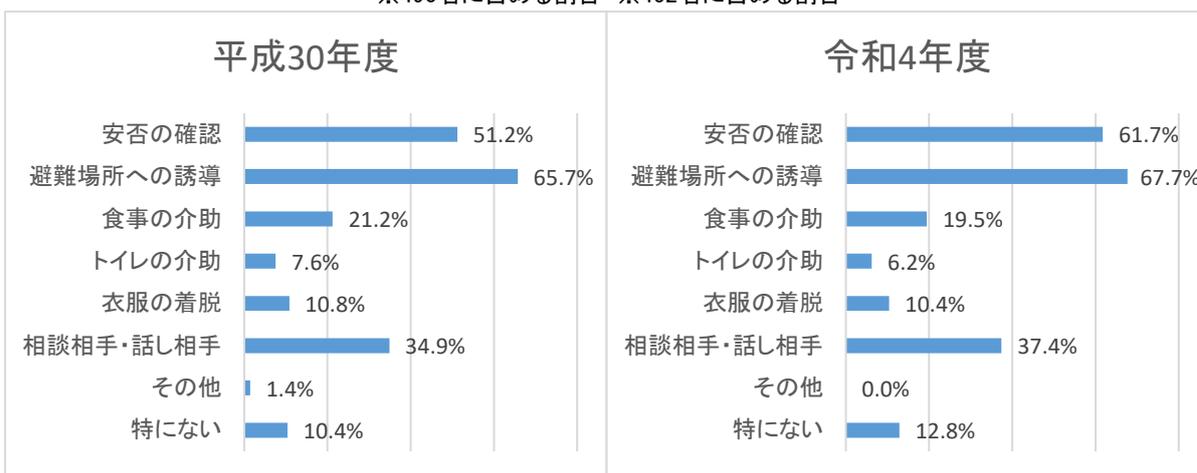
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
手助けすると思う	281	57.3%	259	57.3%
手助けできないと思う	48	9.8%	54	11.9%
わからない	153	31.2%	139	30.8%
未回答	8	1.6%	-	-
計	490	100.0%	452	100.0%



問13 あなたは、災害時に、障害のある人に対してどのようなことができると思いますか。(複数回答)

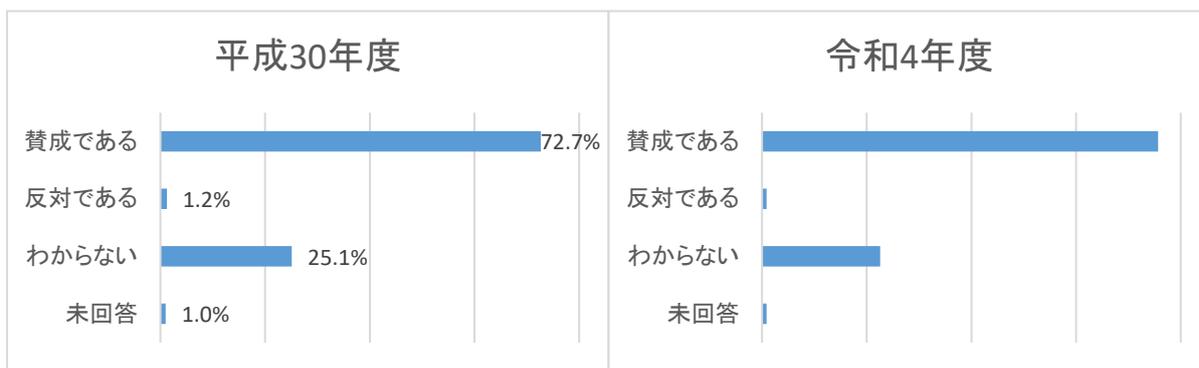
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
安否の確認	251	51.2%	279	61.7%
避難場所への誘導	322	65.7%	306	67.7%
食事の介助	104	21.2%	88	19.5%
トイレの介助	37	7.6%	28	6.2%
衣服の着脱	53	10.8%	47	10.4%
相談相手・話し相手	171	34.9%	169	37.4%
その他	7	1.4%	-	-
特にない	51	10.4%	58	12.8%
計	996		975	

※490名に占める割合 ※452名に占める割合



問14 名張市が「福祉のまちづくり」を進めていくことについてどう思いますか。

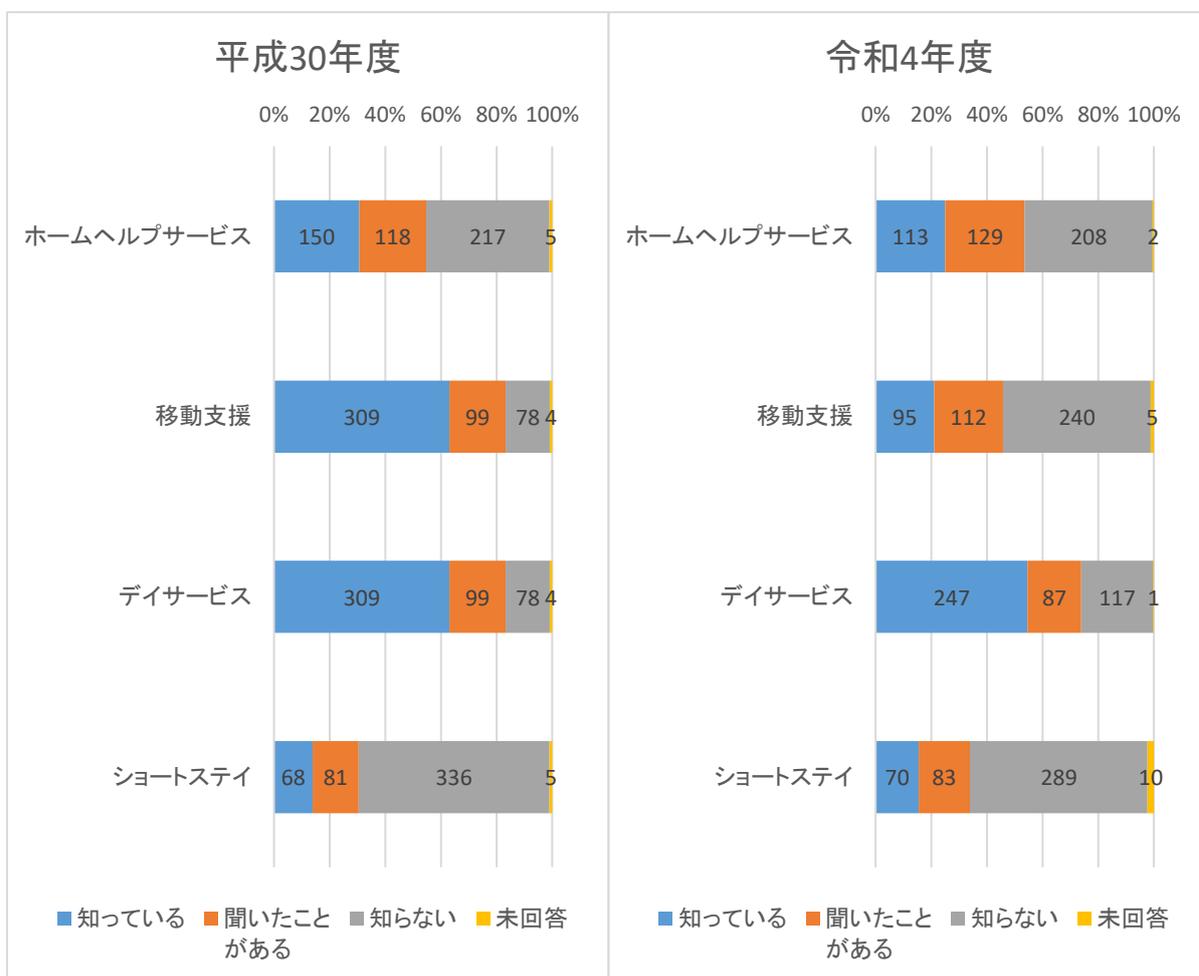
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
賛成である	356	72.7%	342	75.7%
反対である	6	1.2%	4	0.9%
わからない	123	25.1%	102	22.6%
未回答	5	1.0%	4	0.9%
計	490	100.0%	452	100.0%



問15 現在、国や三重県、名張市が行っている障害者福祉サービスを知っていますか。

項目	平成30年度				計
	知っている	聞いたことがある	知らない	未回答	
ホームヘルプサービス	150	118	217	5	490
移動支援	309	99	78	4	490
デイサービス	309	99	78	4	490
ショートステイ	68	81	336	5	490

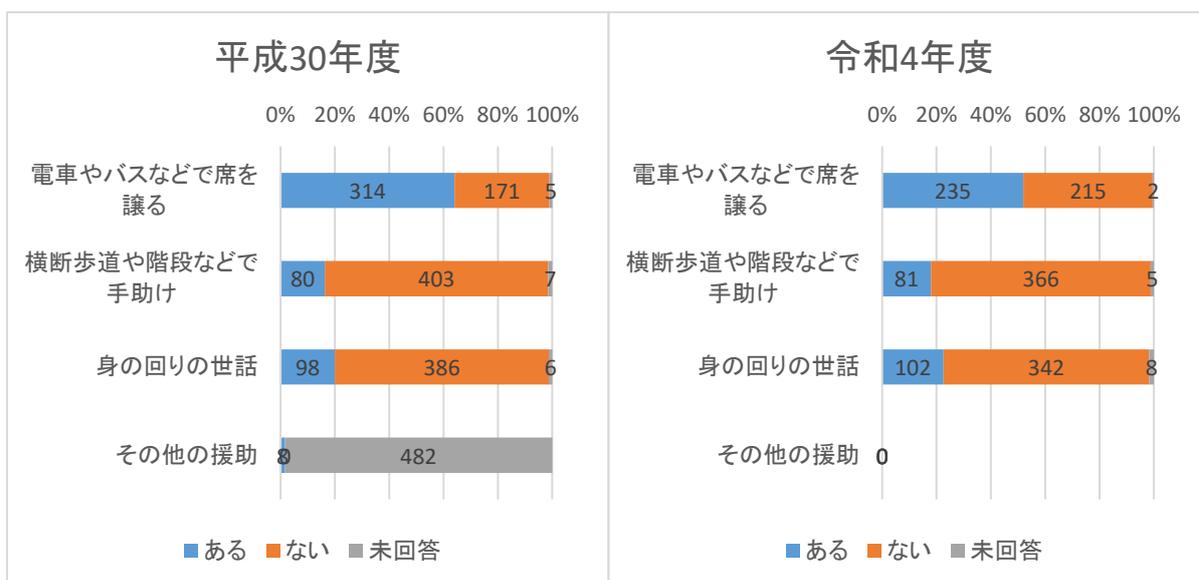
項目	令和4年度				計
	知っている	聞いたことがある	知らない	未回答	
ホームヘルプサービス	113	129	208	2	452
移動支援	95	112	240	5	452
デイサービス	247	87	117	1	452
ショートステイ	70	83	289	10	452



問16 あなたは障害のある人のために次のようなことをしたことがありますか。

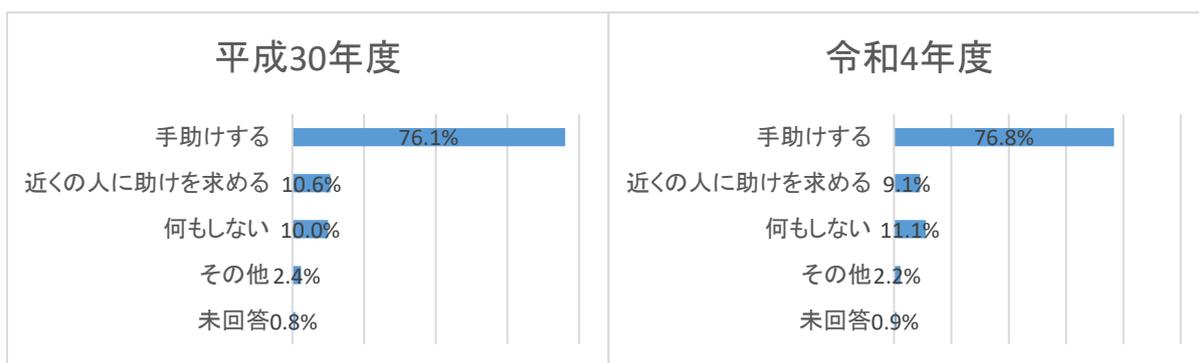
項目	平成30年度			
	ある	ない	未回答	計
電車やバスなどで席を譲る	314	171	5	490
横断歩道や階段などで手助け	80	403	7	490
身の回りの世話	98	386	6	490
その他の援助	8	0	482	490

項目	令和4年度			
	ある	ない	未回答	計
電車やバスなどで席を譲る	235	215	2	452
横断歩道や階段などで手助け	81	366	5	452
身の回りの世話	102	342	8	452
その他の援助	-	-	-	-



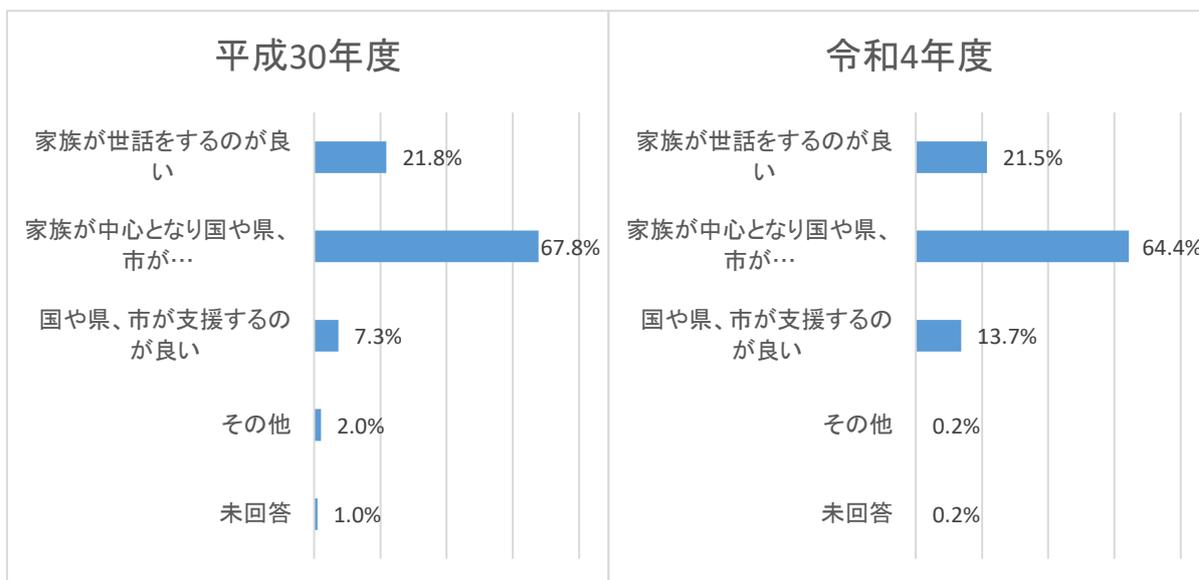
問17 障害のある人が困っている場面(例えば横断歩道を渡れないなど)に出会ったら、あなたはどのようにしますか。

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
手助けする	373	76.1%	347	76.8%
近くの人に助けを求める	52	10.6%	41	9.1%
何もしない	49	10.0%	50	11.1%
その他	12	2.4%	10	2.2%
未回答	4	0.8%	4	0.9%
計	490	100.0%	452	100.0%



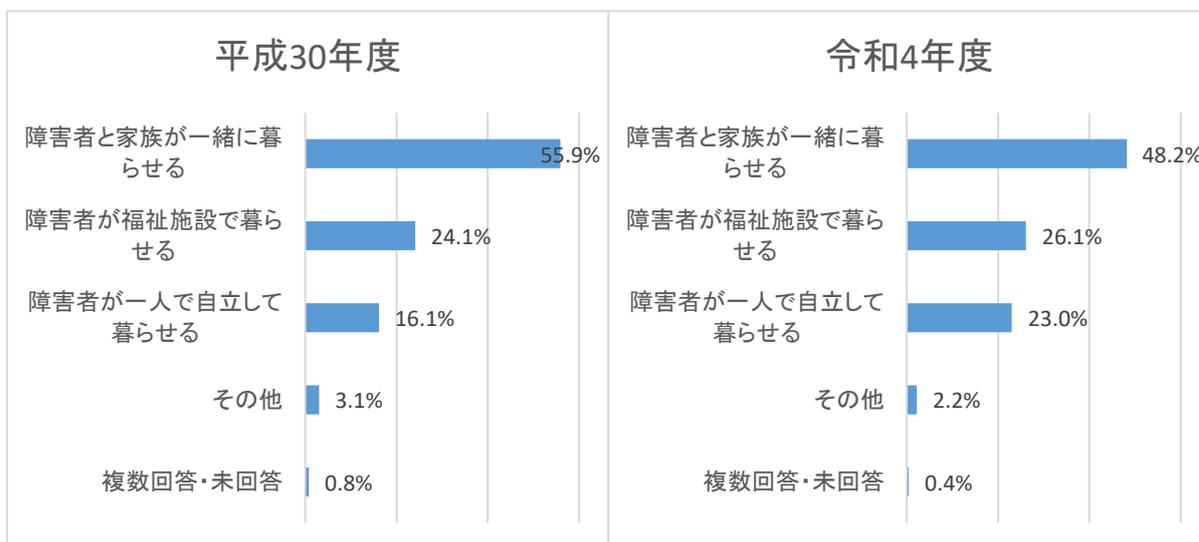
問18 障害のある人たちの身の回りの世話はだれがするのが良いと思いますか。

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
家族が世話をするのが良い	107	21.8%	97	21.5%
家族が中心となり国や県、市が支援するのが良い	332	67.8%	291	64.4%
国や県、市が支援するのが良い	36	7.3%	62	13.7%
その他	10	2.0%	1	0.2%
未回答	5	1.0%	1	0.2%
計	490	100.0%	452	100.0%



問19 国や三重県、名張市が障害のある人たちの暮らしを支援していくには、次のどれがよいと思いますか。

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
障害者と家族と一緒に暮らせる	274	55.9%	218	48.2%
障害者が福祉施設で暮らせる	118	24.1%	118	26.1%
障害者が一人で自立して暮らせる	79	16.1%	104	23.0%
その他	15	3.1%	10	2.2%
複数回答・未回答	4	0.8%	2	0.4%
計	490	100.0%	452	100.0%



問20 障害のある人たちが暮らしやすくなるためには、名張市内の建物や道路や交通機関をどのように変えていけばよいと思いますか。(複数回答)

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
障害者も使いやすい道路の整備	333	68.0%	307	67.9%
障害者も使いやすい公共施設などの改良	317	64.7%	301	66.6%
障害者のための交通移動手段の充実	315	64.3%	266	58.8%
障害者の安全通行のための配慮	288	58.8%	247	54.6%
障害者のための信号や標識の設置	233	47.6%	231	51.1%
障害者のための駐車場の確保	189	38.6%	178	39.4%
その他、未回答	21	4.3%	3	0.7%
総数	1696		1533	

※490名に占める割合 ※452名に占める割合

